



特別インタビュー+

地域と行政のパートナーシップ

意欲的に市政に取り組んでいる渡辺敬夫市長ですが、男女共同参画事業にも大いに理解を示し、お忙しい中Wingの取材に時間をさいていただきました。市長としての立場からこの事業に関する率直な意見を伺いました。

2010年5月14日(金)/いわき市役所

—男女共同参画社会という観点から、いわき市のまちづくりをどのように考えますか。

いわき市の市長になって特に感じたのは、いわき市行政の部長職において女性の登用がほとんどないことです。県では本庁部長が誕生していますし、今でも部長職は、振興局長を含めて毎年3人ぐらいいらっしゃる。それから見ると、いわき市は、行政そのものが男女共同参画社会になっていないのが現状です。それを認識した上で、これからのまちづくりをどうするのかということですね。

今のような厳しい財政状況では、いわき市の各地域が自ら立ち上がって我々行政と一緒に地域づくりをしなければならぬわけですが、その地域の方々の半数以上が女性ですから、当然女性の視点を取り入れたまちづくりをするべきだと考えています。

—女性の社会進出や、社会参画することについてはどう思いますか。

少子化の時代ですから、今後労働人口の絶対数が足りなくなるわけで、女性に社会進出してもらわないと日本の国が支えられない時代背景になってきていると思います。今は不景気ですから雇用状況が悪いということはあるのですが、男性も女性も一緒に就労を含めて社会を支えていかないと、地域の発展につなげていかないと思います。

—女性が働くことに対して、何か具体的なサポート体制はありますか。

これについては、しっかり対応していかなくてはならない時代になってきたと感じています。

そのサポートのために育児休暇など法制度が整備されて、子どもの支援に対して社会全体が支えていこうという時代になってきていますが、現実にはほとんど機能していない。そういう制度を利用しやすい環境にするためには、行政自身が率先して制度利用を推し進めて、啓発活動をやっていかなければならないと思っています。

—啓発活動ということですが、今回の市民意識調査でも「男女共同参画社会」「ワーク・ライフ・バランス」という言葉があまり知られていない結果が出ています。Wingも

認知度がとても低いです。そのへの対策はどうでしょうか。

アンケートについては、世代によって考え方の違いが出てくると思います。しかし、家事に関しては若い人の生活の中では、考え方や役割分担の仕方が進んでいると思うので、言葉を知らないからといって認識不足でまったく取り組んでいないというわけではないと考えます。

ただ、以前に「ジェンダーフリーで男女の性差はない」という考え方が教育現場に取り入れられた時、小学校高学年の男女の更衣室を一緒にしたり、中学校の修学旅行で宿泊を男女同室にした学校があったなど学校現場が混乱しましたから、新しい考え方や言葉を取り入れていくのは難しいですね。

そういう意味で、Wingの果たしている役割は大きいと思いますよ。私も皆さんの言わんとすることは、十二分に理解しています。発行部数については急激に増やすということではできませんが、来年度は少し検討してみるようにと担当課長に話しているところです。

—いわき市の男女共同参画社会を推進する上で、これだけは市長としてリーダーシップをとって改善していきたいと考えていることがありますか。

「女性の日」というような啓発の日を設けることを、現在改訂作業を進めている男女共同参画プランに盛り込むよう担当部署に伝えています。

「女性の日」というのは、戦後初めて女性の参政権を行使して総選挙が行われた4月10日を記念して、労働省(現:厚生労働省)が設けた「婦人の日」を1998年に改称したものです。

いわき市もそれを導入して、その日に男性も参加して頂いて、「真の意味の男女共同参画社会ってどういうことか」を議論したり、セミナーを開くなどいろんなイベントを行って、「これからの社会を構築する上で、男女がどのように社会構成をしていくべきか」を、みんなで考えるために是非ともやりたいと思っています。

—そのネーミングのことで、ちょっと古めかしくて、せっかくの趣旨が伝わらないのではないのでしょうか。例えば「市民の日」とか「男女共同参画の日」とか…。

僕自身は、ネーミングにこだわってはいません。

これについては、いろんな人の助言もあって「女性の日」と言っているわけです。初めて市議会議員になって政治の世界に入った時が、ちょうどいわき市で女性行動計画を立ち上げようとしていた時期でして、それ以来、女性の人権問題が節目の時にいつもそれに関係する役職にいました。60年以上も前にできた憲法の実現のために真



の男女平等の社会を構築しなくちゃならない時代になったと感じているので、「女性の日」とした方が分かりやすいかと思っただけですが、ネーミングはともかく、これだけは是非ともやりたい。

—市長ご自身の「仕事と生活のバランス」は、いかがですか。

これ聞かれると…(笑)家庭にいる時間と仕事をしている時間のバランスはどうしても悪いだろうね。ただ、趣味が山野草なので今が一番いい時期で毎朝が楽しい。敦盛草(あつもりそう)とか山芍薬(やましゃくやく)とかいいですねえ、山野草を見ていると仕事のこと忘れちゃいます。それから、スポーツでストレス解消したり、妻と家庭菜園を楽しんだりしてます。

僕は性格的に切り替えが早いので、全体的なバランスは取れていると思いますよ。

—ありがとうございました。

What's 渡辺市長+

Q: 得意料理は何ですか。
A: チキンソテーのホワイトソースがけです。

Q: カジメンですね。カジメンってご存知ですか。
A: 知ってますけど、そこまで言われるほどではないですね(笑)

Q: ご家族と一緒にすることはありますか。
A: 妻と家庭菜園をやります。もともと僕の趣味で始めたんだけど、今妻が一生懸命手入れしていますね。

Q: 子育てで何かなさったことはありますか。
A: すっど共働きだったんですよ。だから、妻が料理している間に自分が子どもを風呂に入れたりしました。

Q: 自然とイクメンになっていたということですね(笑)イクメンは、推進派ですか。
A: 推進派というよりも、二人の話し合いによってお互いの理解のもとで負担なくバランスが取れるのであれば、推進していくべきものだと思います。

Q: 好きな色は何ですか。
A: 山野草の白とピンクです。

Q: 座右の銘は何ですか。
A: 「公平無私」です。



私が私でいられるようなそんな社会を作りたい